

2025年10月資金需給予想

[毎月第3営業日の18時以降に更新予定]

(単位:億円)	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(水)	▲ 1,300	▲ 29,400	▲ 30,700	2Y発行▲27,000 償還9,800	全店共通(固)8,000・▲8,000 国債補完2,100・▲4,700
2(木)	100	▲ 39,100	▲ 39,000	消費税・法人税揚げ 年金保険料揚げ	国債補完3,000・▲3,500
3(金)	▲ 200	▲ 25,600	▲ 25,800	10Y発行▲26,000	国債補完3,400・▲1,300
4(土)					
5(日)					
6(月)	700	900	1,600	恩給 TDB3M発行▲43,000 償還43,000	国債補完1,300
7(火)	1,000	2,000	3,000		
8(水)	1,000	▲ 15,000	▲ 14,000	30Y発行▲7,000	
9(木)	▲ 500	3,000	2,500		
10(金)	▲ 1,000	▲ 27,000	▲ 28,000	TDB6M発行▲35,000 償還35,000 5Y発行▲24,000 交付税借入▲13,000 期日11,000	
11(土)					
12(日)					
13(月)					
14(火)	1,500	▲ 2,000	▲ 500	TDB3M発行▲43,000 償還43,000	
15(水)	1,000	73,000	74,000	源泉税揚げ 年金定時払い 個人向け発行▲4,000(見込み) 償還800 交付税借入▲13,000 期日11,000	全店共通(固)▲8,000
16(木)	▲ 500	▲ 8,000	▲ 8,500	20Y発行▲8,000	
17(金)	▲ 1,000	1,000	0		
18(土)					
19(日)					
20(月)	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000	TDB3M発行▲43,000 償還43,000 TDB1Y発行▲32,000 償還32,000 流動性供給発行▲6,500 エネルギー対策借入▲6,400 期日6,300	
21(火)	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000		
22(水)	▲ 1,000	▲ 3,500	▲ 4,500	GX10Y発行▲3,000	
23(木)	▲ 1,000	▲ 6,000	▲ 7,000	交付税借入▲13,000 期日11,000	
24(金)	▲ 1,000	2,000	1,000	流動性供給発行▲2,500	
25(土)					
26(日)					
27(月)	200	▲ 1,000	▲ 800	TDB3M発行▲43,000 償還43,000	
28(火)	▲ 300	▲ 1,000	▲ 1,300		
29(水)	▲ 500	▲ 2,000	▲ 2,500		
30(木)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500		
31(金)	▲ 1,000	▲ 3,200	▲ 4,200		

計	▲ 2,300	▲ 87,900	▲ 90,200
---	---------	----------	----------

今月は、2日に税・年金保険料の揚げ、15日に源泉所得税の揚げ、年金定時払い、後期高齢者医療給付費等負担金の払いなどが予定されている。

主な不足日（見込み） 1日、2日、3日、8日、10日 主に財政等要因
主な余剰日（見込み） 15日 主に財政等要因

◆日銀当座預金増減要因（2025年10月見込み） 出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比
銀行券要因	▲ 2,300	▲ 3,188	888
財政等要因	▲ 87,900	▲ 61,734	▲ 26,166
国債等	▲ 103,800	▲ 100,269	▲ 3,531
国庫短期証券等	▲ 8,800	40,443	▲ 49,243
その他	24,700	▲ 1,908	26,608
資金過不足	▲ 90,200	▲ 64,922	▲ 25,278

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。

◆財政資金対民間収支（2025年10月中見込み） 出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比	備考
一般会計	21,350	20,764	586	
租税	55,240	55,385	▲ 145	消費税・源泉所得税等の受入
税外収入	1,650	1,857	▲ 207	
社会保障費	▲ 15,600	▲ 16,982	1,382	後期高齢者医療給付費等負担金の支払等
地方交付税交付金	2,230	2,418	▲ 188	
防衛関係費	▲ 4,730	▲ 4,053	▲ 677	
公共事業費	▲ 2,440	▲ 2,593	153	
義務教育費	▲ 980	▲ 948	▲ 32	
その他支払	▲ 14,020	▲ 14,320	300	国立大学法人運営費交付金の交付等
特別会計	▲ 48,480	▲ 49,071	591	
財政投融资	2,720	▲ 592	3,312	
外国為替資金	-	995	▲ 995	
保険	▲ 48,190	▲ 48,912	722	年金の定時払等
その他	▲ 3,010	▲ 563	▲ 2,447	
一般会計・特別会計等小計	▲ 27,130	▲ 28,308	1,178	
国債等	103,810	100,269	3,541	
国庫短期証券等	8,840	▲ 40,443	49,283	公募発行見込額約24.2兆円
国債等・国庫短期証券等小計	112,650	59,826	52,824	
調整項目	20	▲ 2,037	2,057	
総計	85,540	29,482	56,058	

◆2025年10月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（2Y発行）、2日（税・保険料揚げ）、3日（10Y発行）、8日（30Y発行）、10日（5Y発行）。
主な余剰予定日は、15日（年金定時払い、国立大運営費交付金）。

◆2025年10月の短期金融市場予想

【コール市場】

無担保コールO/N物（TONA）については、引き続き日銀当座預金（付利金利）との裁定を意識した取引が継続されることが見込まれる。レート水準については、多少の上下を伴いつつも、概ね0.477%程度で落ち着いた推移が続くと予想される。

【CP市場】

CP市場については、発行体の有利子負債圧縮により、9月末には発行残高が22兆円程度まで大きく減少したものの、CPでの資金調達ニーズは引き続き根強く、期明け後は再び増加傾向となっている。発行レートについては、10月会合での利上げも意識される中、期間が長めの銘柄からレートが切り上がる展開が予想される。

【短国市場】

短国市場については、9月会合以降、再び追加利上げに対する警戒感が高まる展開となったことから、利回りは全般的に上昇傾向となっている。そんな中でも3M物に関しては年末越え物となることもあり一定のニーズが見込まれるが、期間が長い6M物や1Y物に関しては、追加利上げのタイミングを巡る思惑による振れを伴いつつ、入札を通じてレートが切り上がる展開が予想される。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。